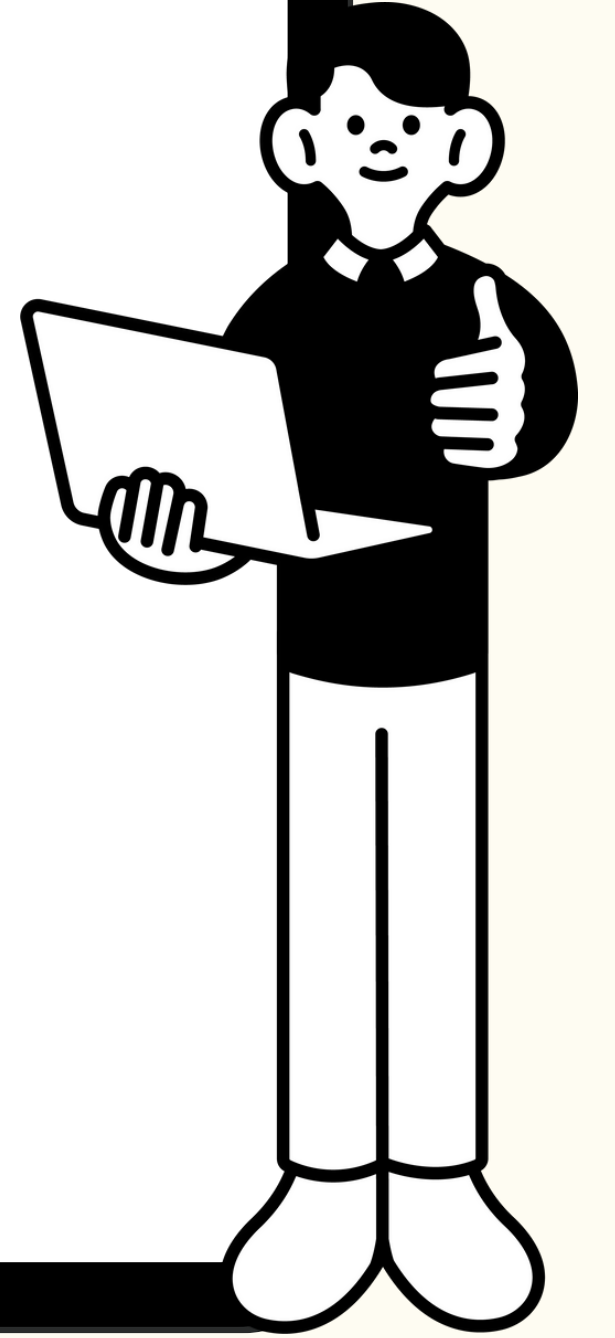
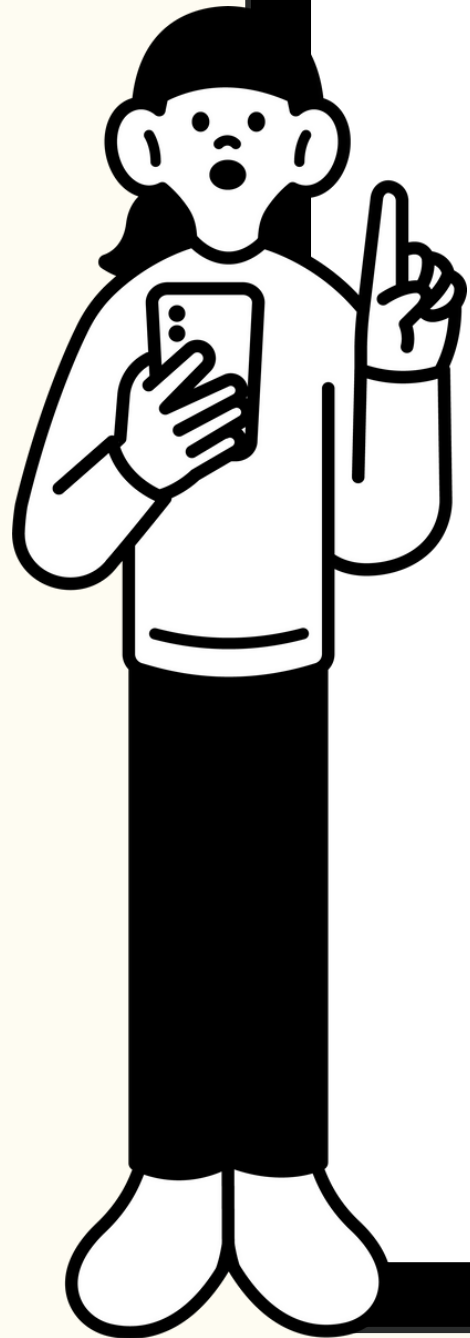


NTT docomo Solutions

セキュリティ教育通信

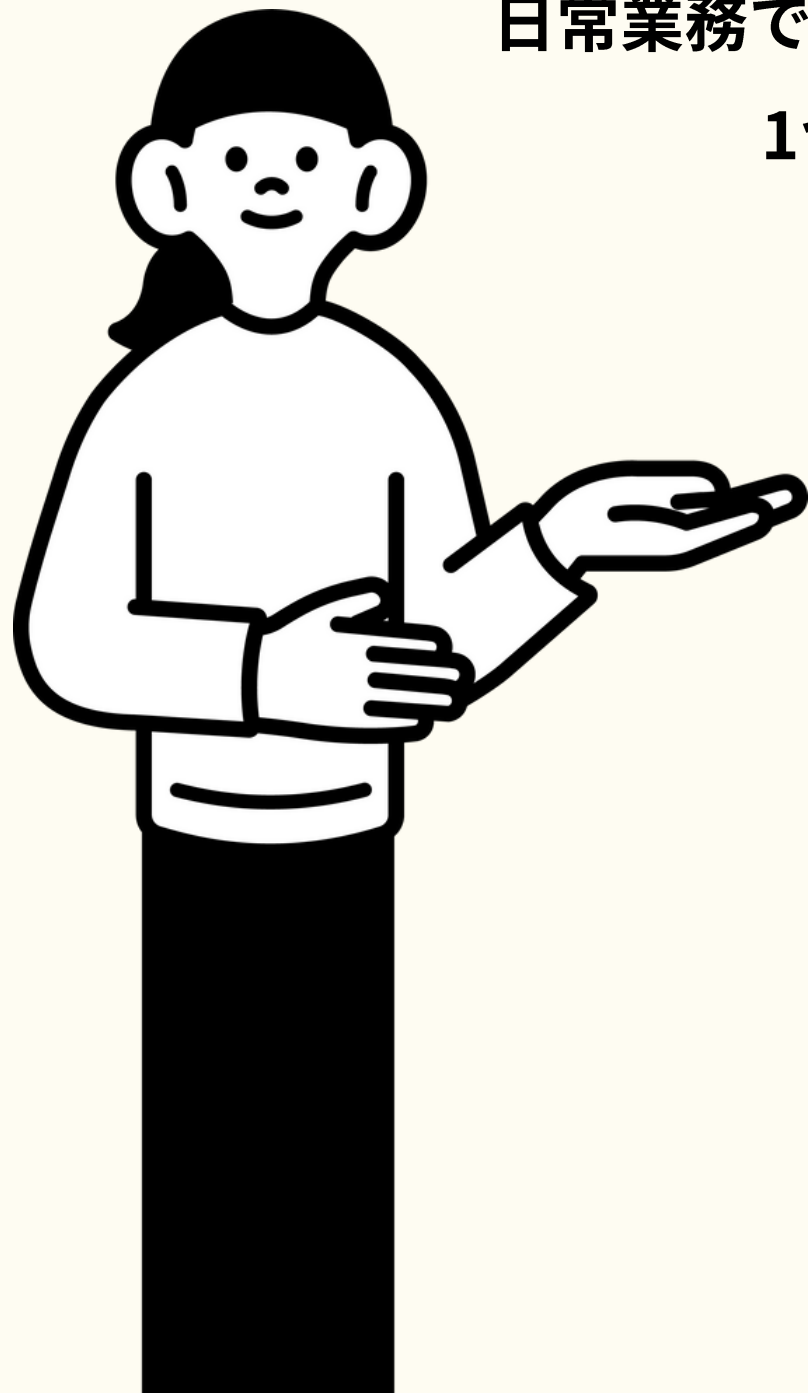
2026年7月号

NTTドコモソリューションズ株式会社



2026年7月の セキュリティ教育テーマ

日常業務で起こりやすい3つのセキュリティリスクについて、シンプルに分かりやすく学んでいきます。
1つ1つのテーマで『なぜ危ないのか』『どう防ぐか』を具体的に紹介していきます。



1

基本対策 | Basic Countermeasures

USBメモリの安全な取り扱い

2

インターネットの脅威 | Online Threats

社内アドレスを装うメールに注意

3

季節・社会動向の注意点 | Seasonal Security

空港のWi-Fi、安心して使っていませんか？

1. USBメモリの安全な取り扱い

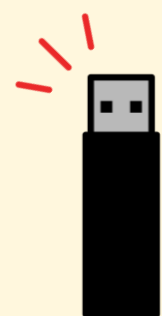


USBメモリを挿したら、
ウイルスに
感染?!

1. USBメモリの安全な取り扱い

USBメモリは、

ウイルスの**直接感染ルート**です



USBメモリは、インターネットやメールを経由せず
PCに**直接入り込める「入口」**なので



ウイルス対策ソフトを
すり抜けることがある

USBメモリは、ウイルス対策ソフトの
検査を通らずに感染することがあります。



利用者が感染に
気づきにくい

見た目や動作に異常が出にくく、
気づいたときには被害が広がることも。



使用してよいUSBメモリか、必ず確認してから使いましょう。

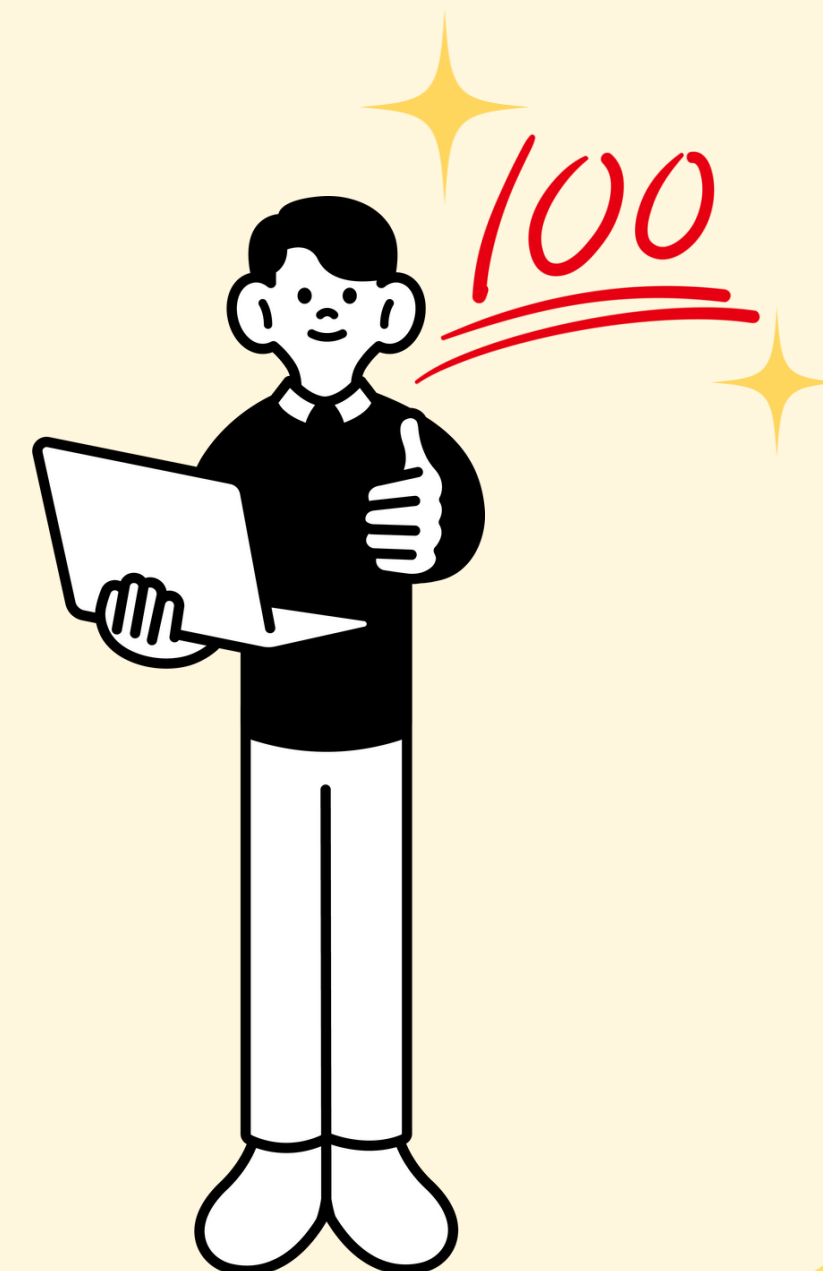
1. USBメモリの安全な取り扱い

USBメモリからの感染を防ぐために、
特別なスキルは必要ありません

- 社内で使用が許可されたUSBメモリか確認する
- 入手元が分からないUSBメモリは挿さない
- 私物のUSBメモリを業務PCに挿さない
- 少しでも迷ったら、自己判断せず相談する

見覚えのないUSBメモリは、

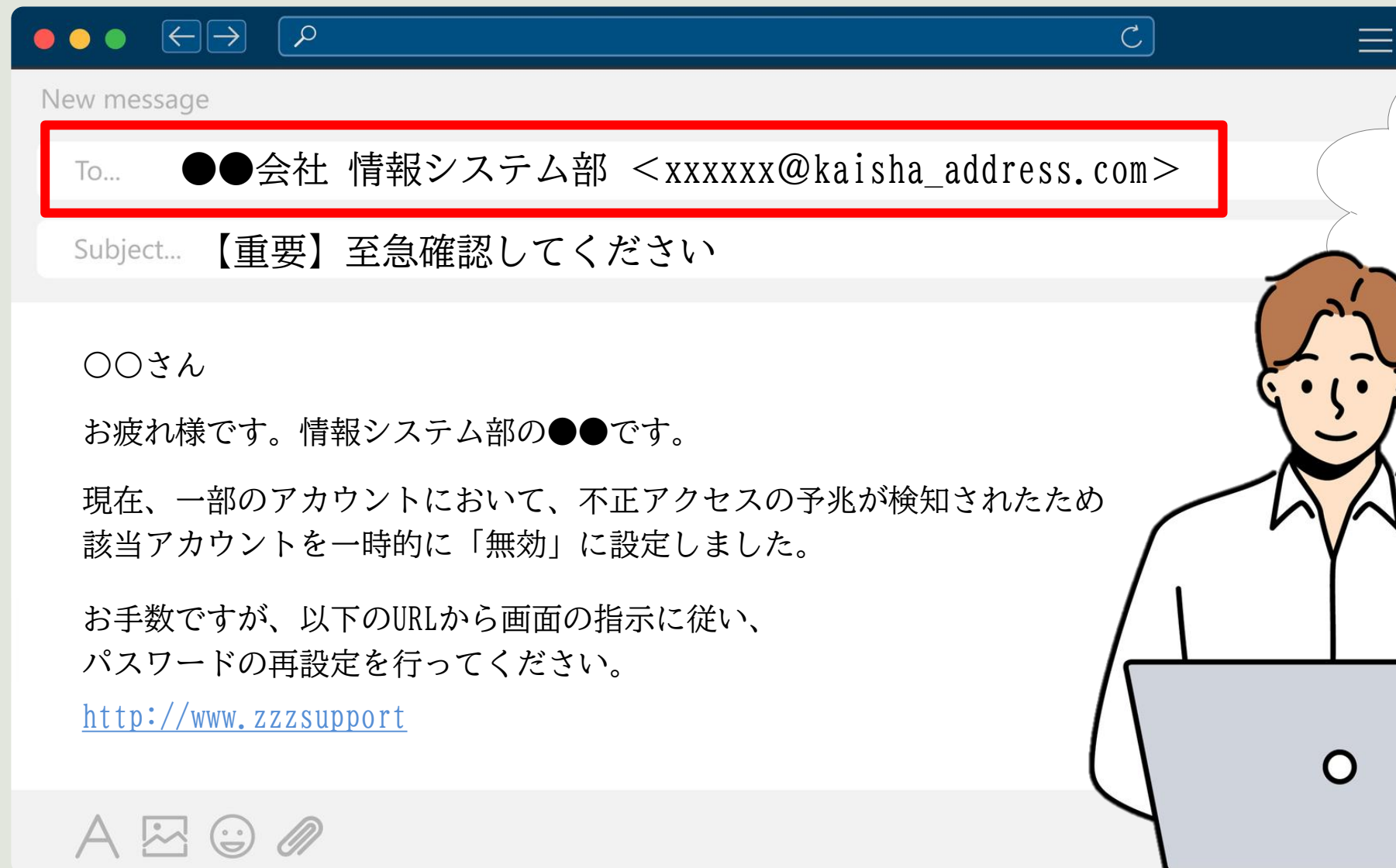
挿さないことが一番の対策です。



2. 社内アドレスを装うメールに注意

「社内のメールアドレスだから安心」

そう思ってメールを開いていませんか？

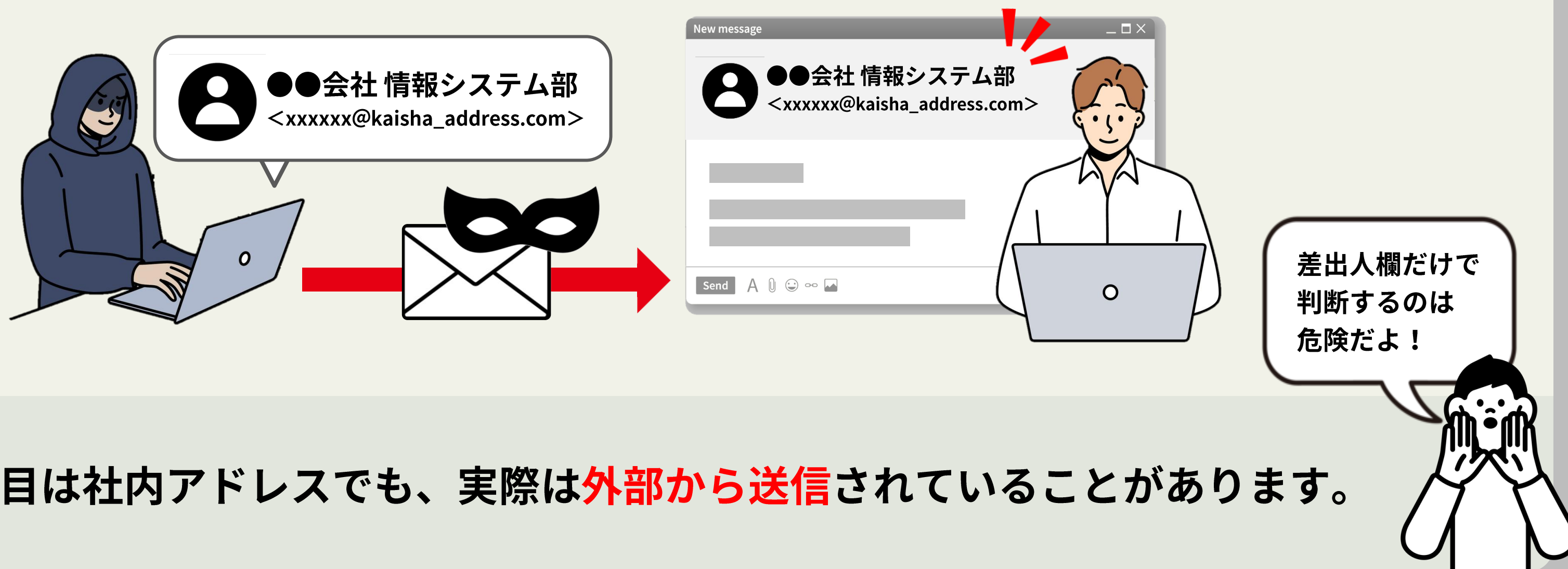


情報システム部から？
急いで対応しないと…

2. 社内アドレスを装うメールに注意

社内アドレスから届くメール=安全とは限りません

メールは仕組み上、**差出人欄を偽装して送る**ことができます。



見た目は社内アドレスでも、実際は**外部から送信**されていることがあります。

2. 社内アドレスを装うメールに注意

さらに見逃せないもう一つのポイントは、
自社のメールアドレスが“**なりすまし**”に使われる可能性があります。

① なりすましに使われると...




POINT



- ✓ 自社アドレスに見える不審なメールが出回ると、**会社全体の信頼**に関わる問題になります。
- ✓ 「自分がだまされない」だけでなく、**気づいたらすぐに報告**することが重要です。

少しでも違和感があれば、すぐにセキュリティ担当者へ報告しましょう。
早めの報告が、被害の拡大防止につながります。

2. 社内アドレスを装うメールに注意

 覚えておいてほしい**3**つのポイント！

- 社内アドレスでも、無条件に信じない
- ID・パスワードの入力を求めるメールは、慎重に確認する
- 少しでも違和感があれば、電話やチャットなど別の手段で確認する

「確認すること」は迷惑ではありません。
確認しないことの方が、リスクになります。



3. 空港のWi-Fi、安心して使っていませんか？




そのWi-Fi、**繋いで大丈夫!?**





3. 空港のWi-Fi、安心して使っていませんか？


人は“**急いでいる場面**”ほど、疑わずに行動しがちです

 空港では、こんな状態になりがちです

 慣れない場所で
疲れている

 待ち時間に
すぐ調べたい

 空港のWi-Fiなら
安心だと思う

 「確認する」より
「**早くつなぐ**」が
優先される状態



■報告事例

このような心理につけ込み、本物と似た名前の“**偽Wi-Fi**”や
ログイン情報を入力させる手口が海外の空港で実際に起きています。

公式Wi-Fiか確認し、**迷ったら接続するのはやめましょう**
その判断があなたの情報を守ります

3. 空港のWi-Fi、安心して使っていませんか？

外出先Wi-Fiでは、ここを意識してください

- 公式Wi-Fiネットワークの名前であることを確認する
- Wi-Fiへの自動接続はOFFにする
- VPNを利用して通信内容を保護する
- クレジットカード情報や個人情報などは入力しない

便利さよりも、**安全な接続**を優先しましょう